

熊本県中学校総合体育大会 弓道競技 申し合わせおよび確認事項

令和4年(2022年)5月24日(火)
弓道競技 専門委員会

- ① 5 競技方法(2)個人戦○予選について
個人戦の予選は、「同時打ち起こし」での進行とする。
※個人戦の決勝は、「順次打ち起こし」での進行とする。
- ② 5 競技方法(2)個人戦○決勝について
個人戦の決勝における優勝決定戦は射詰めによる。全中により8射までに決定しない場合は小的(直径24cm)に変更して競技することもある。となっているが、残っている選手が全員の的中しなかったときは、その時点で遠近法に切り替えて優勝を含む順位決定を行う。
- ③ 5 競技方法(3)制限時間について
個人戦にもエントリーしている選手が、団体予選での結果を個人の部での的中とする場合もある。団体戦は制限時間が設けてあるが、個人戦には制限時間がないことから、もし団体戦の制限時間を過ぎても4矢を引くこととする。ただしこのとき、制限時間後の的中は、団体としては無効となる。個人戦の的中には数えられる。
- ④ 7 その他(2)補員との交代について
団体戦における補員は2名まで登録できる。
監督会議時の交代とは、「先発(予選1立目)選手の交代」という意味で、補員登録の選手が1,2,3番のいずれかに入ることとなる。これは交代の1回には数えない。
このとき、予選2立目以降に、選手申込書における○番の選手が、選手交代で○番以外の立ち順に入っても構わないこととなる。
- ⑤ 4 参加制限について
同一の選手が、団体戦・個人戦ともにエントリーすることは可能である。このとき、競技における結果については、5 競技方法(2)個人戦 のとおりとなる。
ただ、本大会は県弓道連盟や県中学生弓道協会が主催している大会(4月全国予選、6月九州予選、11月県新人大会等)とは違い、団体戦と個人戦は別エントリーです。
団体戦の予選で高い的中数であっても、個人戦のエントリーがなければ、個人戦入賞の資格はありません。
- ⑥ 大会全般について
大会参加のマナーについて、生徒(選手、応援含む)、保護者等すべて、マナーの向上を今一度お願いします。

以下は、令和4年度の特例(令和3年度からの継続)とする。
(感染拡大防止対策や競技時間の短縮を図るため)

- ⑦ 5 競技方法(3)について ※③に加えて
制限時間については、弦切れ時の処理等においても感染症への対策や配慮が必要であることをふまえ、団体予選・決勝ともに設けない。また、団体決勝も立射でおこなう。